

資料 2

研究主題： 自分の考えを 筋道を立てて説明できる子の育成 ～学び合いを生かした国語科の授業づくり～

■ 指導内容

■ 指導過程

①指導の系統性を踏まえて、付けたい力の明確化

②単元を貫く言語活動を位置づけた授業構想 ……付けたい力に最適な言語活動の選定

一 次	二 次	三 次
本の帯を使って人物 当てクイズをする。	登場人物の言葉から、その人の生き方を考えよう 教材文と自分の生き方を比べて話し合う(同じ考え・違う考え) 文学的表現と説明的表現の違いを読み取り、伝記の様式についてまとめる。(読み比べをして。帯の特徴をさぐろう。)	伝記を読んで本の帯を作り、生き方を教えてく れる「おすすめ人物ブックフェア」をしよう。

＜ 並行読書 ＞

この言語活動で、どんな力が
つくのかを明らかにして

学校研究の取組 … 板書上で表れる形は？ (自分の考えを伝え合い、学び合う授業)

⑦「学習用語」を使う、使わせる。

用語の意味を習得し、その用語
を活用して、文章と向き合い自分の
考えをつくり、人に対してその思いを
論理的に表現させる。

⑧系統性を踏まえての指導

(低)登場人物の行動を中心に…
(中)登場人物の性格や気持ちの変化、
情景などについて…
(高)登場人物の相互関係や心情、場面
についての描写を捉え…

⑨つなぎ言葉を意識させる。
(接続詞・語りはじめの言葉)

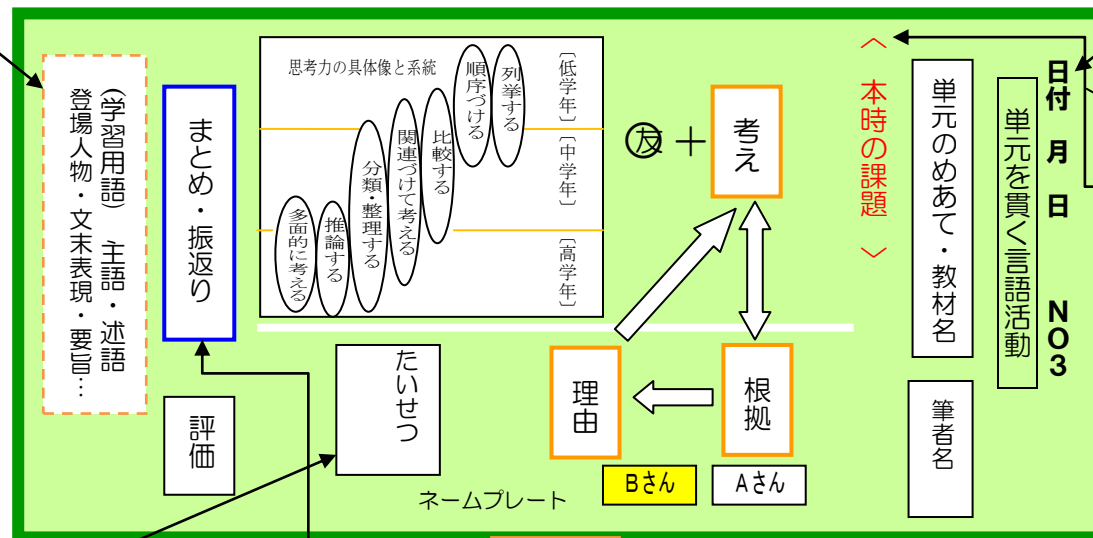
⑩単元・教材で身に付ける知識
や技能を示した「たいせつ」を
生かす(表示)

⑪友達の考えの共通点・相違点
などを意識させる

⑫ネームプレートを使用。考え
の変化は黄色

⑬課題に対応したまとめを意識
する。青チョークで囲む

⑭字数(80字以内など)・〇〇に続
くように・敬語を用いてなど条
件をつけて書かせる場の設定



【まとめの場】

どの子も達成感が持てるよう、書き
方の例を示してまとめさせる。

(低) 大切な言葉を穴うめしてまとめる。

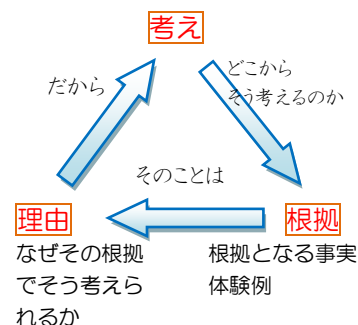
(中) 黒板に書いてあるキーワードをつ
なげてまとめる。

(高) 大切な言葉は何かを考えて、自分
でまとめる。

※可視化(活用させたいもの)
学習の足跡を残し、学習を思い起こ
させる。(必要なものは教室に掲示)

根拠・理由・考えの3点セット

【三角ロジック】



友達に問かける言葉で
「～ですね。」「～ですよ。」
「ここまですか。」
(聞き手)
「…私の考えとの違いは」



【意見をつなぐために…】

教師は子どもの発言に対して

- ▲先生は復唱しない
- ▲先生がいい直さない
- ▲先生が解説しない

子どもに
投げかける

【発問の吟味】

「あなたは… どう考えるの？」
「あなたは… どう感じる？」
「あなただったら、どうする？」

根拠を明確にした説明・論述

考え 私は…だと思います。
根拠 叙述に述べられていること・事実
理由 「…」ということは～ということです。